

第4章 まちづくりプロジェクト

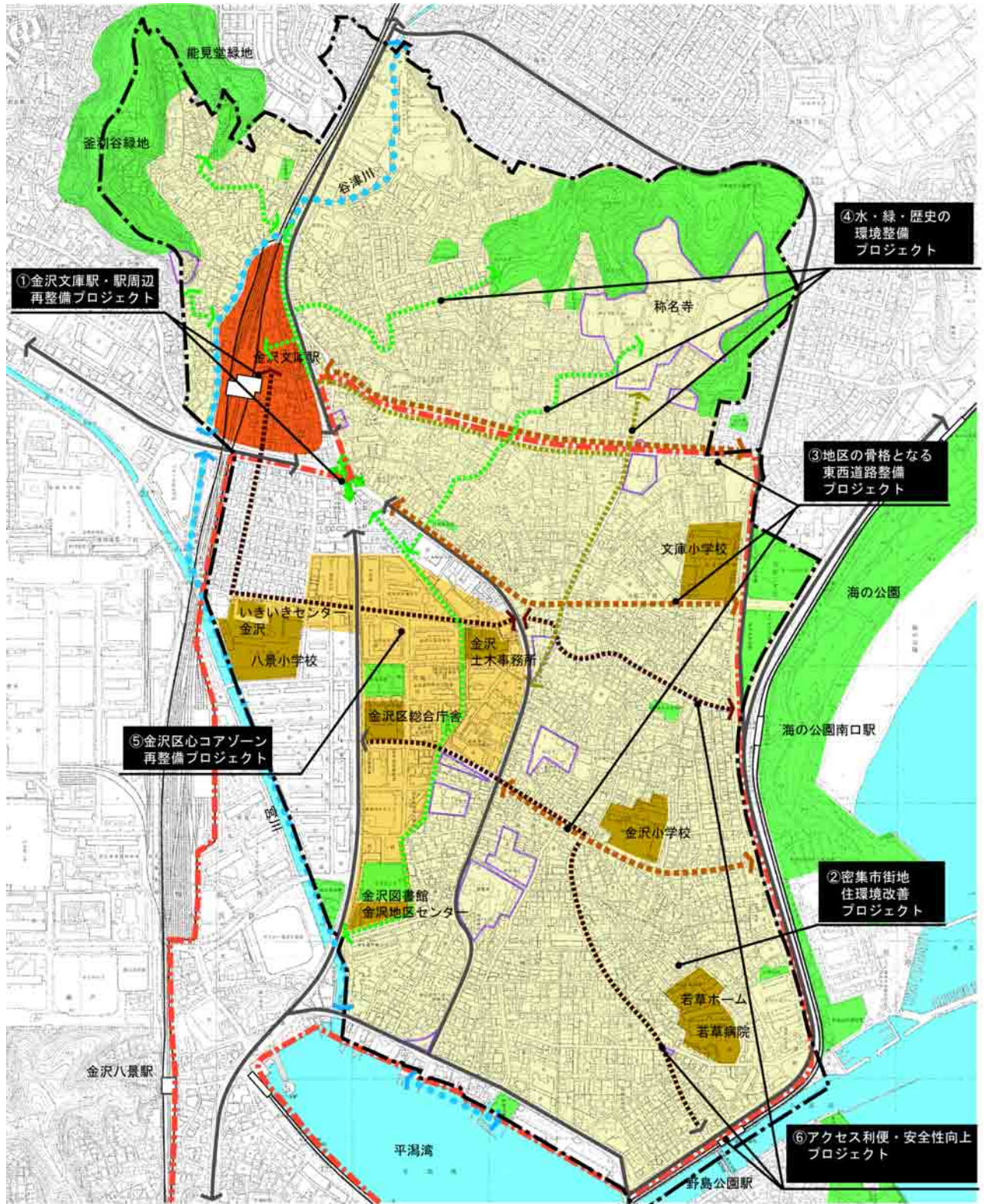
金沢文庫駅・駅周辺再整備プロジェクト
密集市街地住環境改善プロジェクト
地区の骨格となる東西道路整備プロジェクト
水・緑・歴史の環境整備プロジェクト
金沢区心コアゾーン再整備プロジェクト
アクセス利便・安全性向上プロジェクト

第4章 まちづくりプロジェクト

先のまちづくり方針を実現化するために優先して取り組むべき内容を「まちづくりプロジェクト」と設定し、事業を進めていきます。

プロジェクト	内容
金沢文庫駅・駅周辺 再整備プロジェクト	<p>金沢文庫駅のバリアフリー化促進 金沢文庫駅近傍における駐輪場整備 交通広場の再整備 国道16号の拡幅整備に伴う歩車道の段差低減と切り下げ形状の改善 谷津川水路用地の活用 誰もが安心して利用できる君ヶ崎交差点の改善 魅力的な商業施設、都市型住宅の再整備</p>
密集市街地住環境改善 プロジェクト	<p>防災のまちづくりに対する地元の合意形成と防災まちづくり計画の立案 耐震改修助成、狭あい道路の拡幅、建替え促進などによる住環境の改善</p>
地区の骨格となる 東西道路整備 プロジェクト	<p>市道谷津坂462号線の狭小幅員区間の道路拡幅および歩道空間の整備 都市計画道路泥亀釜利谷線未整備区間の整備 町屋学校通り沿いの壁面後退による歩行者空間の確保</p>
水・緑・歴史の 環境整備プロジェクト	<p>地域住民の地域資源にふれあうきっかけづくり 地域資源を活かしたまちづくりへの積極的な参加の推進 地域住民が中心となった地域資源の維持管理の仕組みづくり 既存の地域資源を活用した水・緑・歴史のプロムナードの整備</p>
金沢区心コアゾーン 再整備プロジェクト	<p>金沢区心コアゾーンに至るアクセスルートの快適性・安全性の向上 地域の課題や地域のニーズに対応した金沢区心コアゾーンの再整備</p>
アクセス便利・安全性 向上プロジェクト	<p>交通安全性の向上 道路の改善 野島橋の架け替え 金沢シーサイドライン各駅のバリアフリー環境の充実</p>

図4 -1. まちづくりプロジェクトマップ

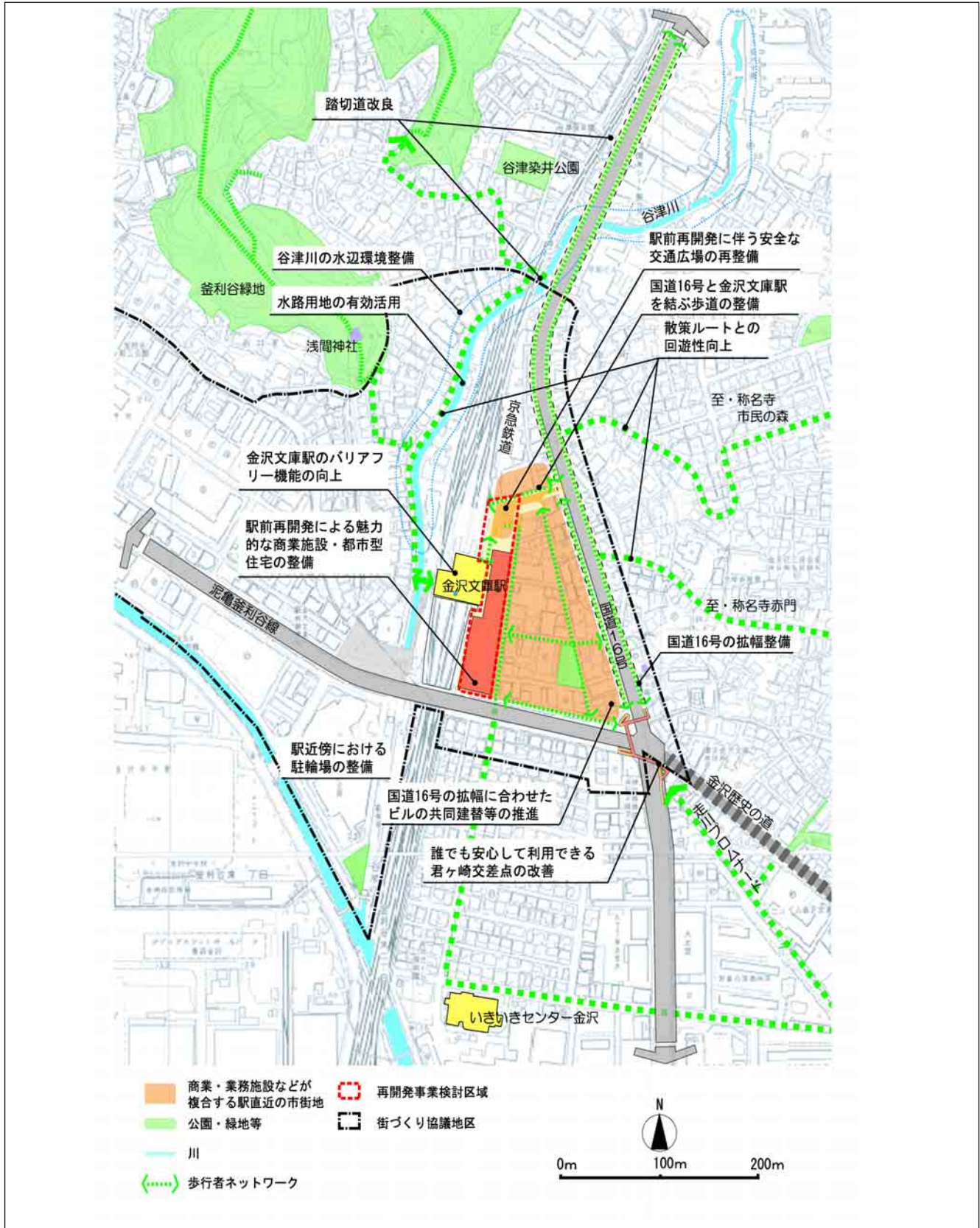


- | | | | |
|----------------|-------------------------------------|---------------------------|--------------------|
| — · — · — | 地区境界 | ← — — — — → | 幹線・地区幹線道路 |
| ■ (Green) | 公園・緑地等 | — · — · — (Orange dashed) | 地区の骨格となる東西道路 |
| □ (Purple) | 寺社 | — · — · — (Green dotted) | 緑のプロムナード |
| ■ (Blue) | 海・川 | — · — · — (Blue dotted) | 水のプロムナード |
| ■ (Brown) | 主要施設 | — · — · — (Yellow dotted) | 歴史のプロムナード |
| ■ (Orange) | 金沢区心コアゾーン | — · — · — (Black dotted) | 駅～区心コアゾーンを結ぶアクセス道路 |
| □ (Red dashed) | 歩行者・自転車が安全に通行できる地区を目指すあんしん歩行エリア (※) | | |
| ■ (Yellow) | 密集市街地の住環境改善に向けたいえ・まち改善事業地区 (※) | | |

金沢文庫駅・駅周辺再整備プロジェクト

横浜市の地域拠点ならびに金沢区の交通結節点として相応しい駅施設、および交通広場の整備を図るとともに、市街地再開発事業と連携し、活力と魅力ある駅周辺のまちづくりを進めます。

図4-2. 金沢文庫駅と駅周辺の整備イメージ



金沢文庫駅のバリアフリー機能の向上

金沢文庫駅にエレベーターの設置を進めます。

金沢文庫駅近傍における駐輪場の整備

金沢文庫駅近傍において駐輪場の整備を進めます。

金沢文庫駅前交通広場の再整備

金沢文庫駅駅前では、国道16号まで安全にアクセスできる十分な幅員を持った歩道等の交通広場の整備を進めます。



金沢文庫駅駅前では、国道16号まで安全にアクセスできる歩道とバス、タクシーなどが安全に利用できる交通広場の整備を進めます。

金沢文庫駅一帯の歩道空間の充実

国道16号の拡幅整備に合わせて、歩道部分の幅員拡幅、歩道段差の低減、車椅子利用に配慮した歩道切り下げ形状の改善整備を進めます。

金沢文庫駅西側の谷津川沿いや浅間神社を經由する六国峠ハイキングルート、金沢文庫駅東側の称名寺市民の森等



金沢文庫駅、谷津川、六国峠間で歩行者動線をつなぎ、安全な歩行ルートの確立を図ります。

谷津川水路用地の活用

金沢文庫駅に近接する谷津川の水路用地内の土地有効活用について検討します。

君ヶ崎交差点の改善

自転車や高齢者、障害者、子ども連れの方などが安心して渡れるよう、道路の整備に合わせて君ヶ崎交差点の歩道橋等の改善を進めます。

魅力的な商業施設・都市型住宅の再整備

金沢文庫駅に近接して、地区の拠点となる魅力的な商業施設や都市型住宅の整備を進めます。

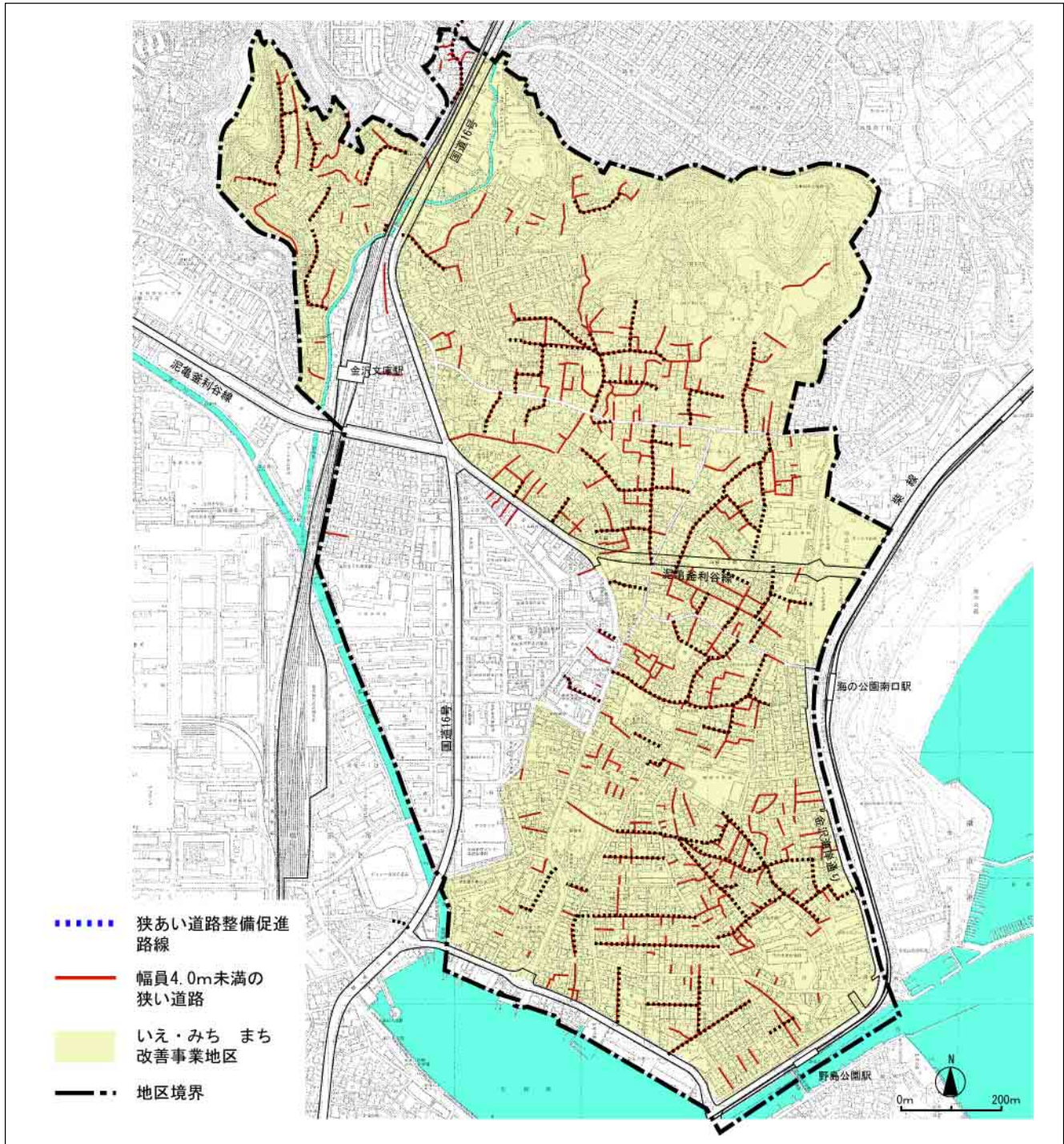
密集市街地住環境改善プロジェクト

防災上課題のある密集住宅市街地に対して、地域住民への防災情報や住環境の改善制度について情報提供や意識啓発を進めます。

さらに、地域住民、事業者、行政が協働して防災まちづくり計画を作成し、既存の制度の活用により区内で特に重要な狭あい道路の拡幅整備や倒壊の危険性のある住宅の耐震改修を促進するなど、地域の防災性の向上と住環境の改善を進めます。

また、地域住民の合意形成に応じて密集住宅市街地整備促進事業や街並み誘導型地区計画()等の導入を進めます。

図4-3. 金沢文庫駅東側地区内の密集市街地および狭あい道路の分布



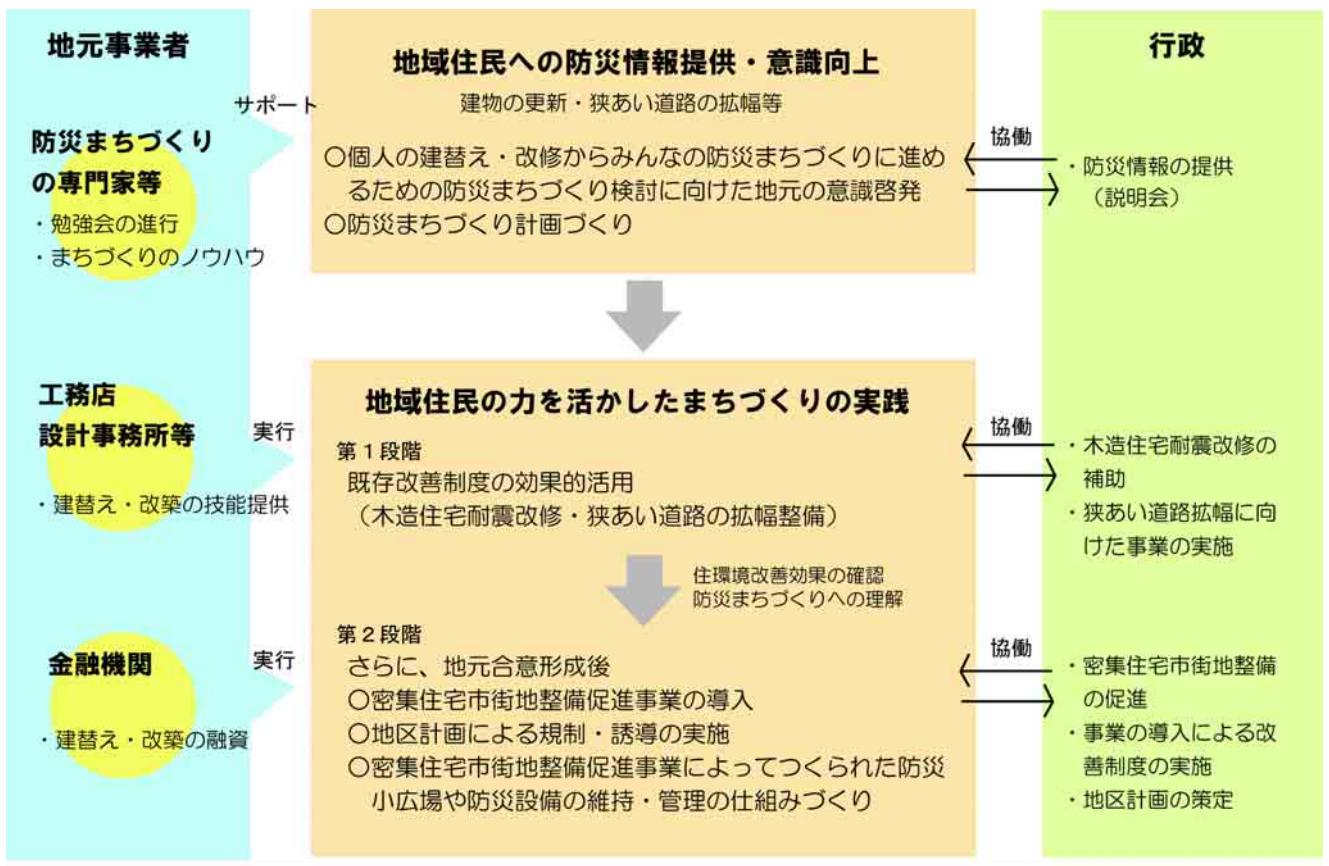
防災まちづくり計画の立案

説明会を通じて、地域の防災に関する情報を地域住民と行政とで共有し、住環境を改善する事業メニューを紹介して地域の防災意識の向上を図り、さらに勉強会を通じて、まちの課題を整理し対策や計画について話し合います。

そして、既存改善制度を効果的に実施しながら、狭あい道路の拡幅や木造住宅の耐震改修を行っていきます。(第1段階)

さらに、防災まちづくりに向けた地元の合意形成が整い次第、密集住宅市街地整備促進事業を導入し、老朽建物の建替え促進や小広場の整備、地域住民が消火に使う水利(ローカル消火栓)の導入といった整備を進めます。(第2段階)

防災まちづくりの仕組み



安全に暮らせるまち
住み続けられるまち

防災性の向上と住環境の改善を図る事業の導入



耐震改修助成



耐震診断で「倒壊の危険性がある」と判定された住宅の耐震改修工事費の一部を助成

狭あい道路拡幅整備



「狭あい道路整備促進路線」に指定された道路沿いで、拡幅部分の舗装整備、門や塀等の除却、擁壁の築造等にかかる費用の一部を助成

小広場の整備



防災活動や地区住民のコミュニケーションの場となるオープンスペースの整備

緑化推進



- ・道路拡幅整備などに伴うブロック塀の除去
- ・生け垣緑化の推進

建替え促進



老朽化した建築物を、不燃化された共同住宅などに建替える場合、老朽住宅の除却費、設計監理費等の一部を助成 不燃化以外にも敷地規模等の条件あり

市民力による初期消火システムの導入

- ・広場の初期消火水槽、ローカル消火栓等の導入
- ・地域住民による消防活動組織化

街並み誘導型地区計画

(規制緩和)	(規制の追加)
・道路斜線制限	・構造規制(準耐火構造以上)
・容積率	・道路側、隣地側からの後退
・建ぺい率	・建物の最高高さ
	・緑化の推進

規制緩和による建替え促進

- ・街区全体の不燃化促進
- ・延焼抑止帯形成(主要道路の拡幅と沿道不燃化)
- 魅力的なまちづくり
- ・緑化、街並み形成

いえ・みち まち改善事業の改善メニュー

建築対策

- ・不燃建替えへの助成
- ・耐震改修への助成

地区公共施設等対策

- ・狭あい道路の拡幅不燃建替えへの助成
- ・小広場の整備
- ・地区毎のニーズに合わせた施設の整備

地域住民が使いやすい初期消火システムの導入

- ・ローカル消火栓等の導入

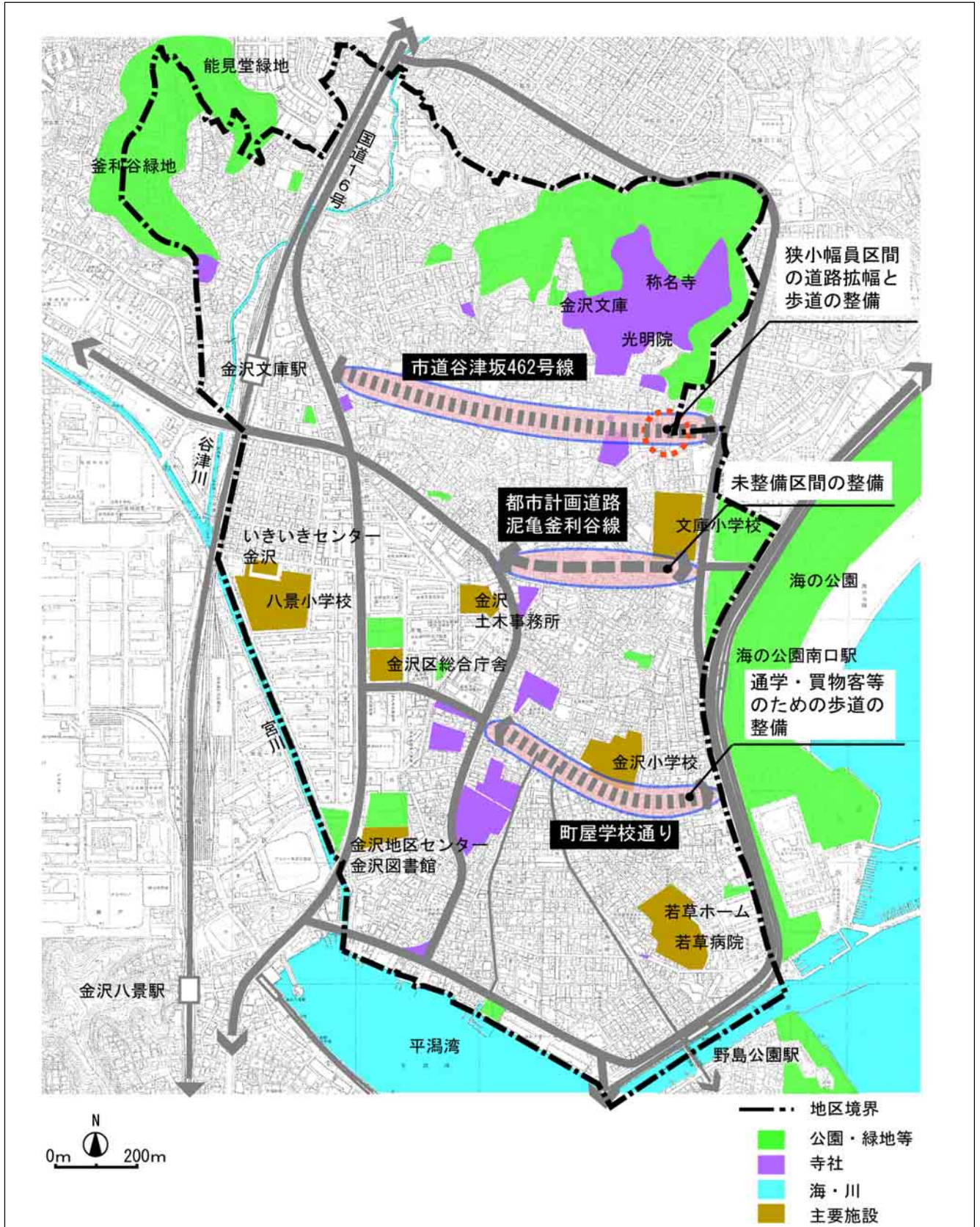
街づくり対策

- ・街並み誘導型地区計画等の導入

地区の骨格となる東西道路整備プロジェクト

住宅地内の狭い道路に入り込む自動車の通過交通を防ぐため、十分な幅員を持った地区の骨格となる東西道路を整備し、歩行者と自動車との分離を図ります。

図4-4. 地区の骨格となる東西道路



市道谷津坂 462 号線（称名寺前道路）の狭小幅員区間の拡幅と歩道空間の整備

特に狭小幅員となっている称名寺赤門～柴町間において、道路拡幅を進めます。

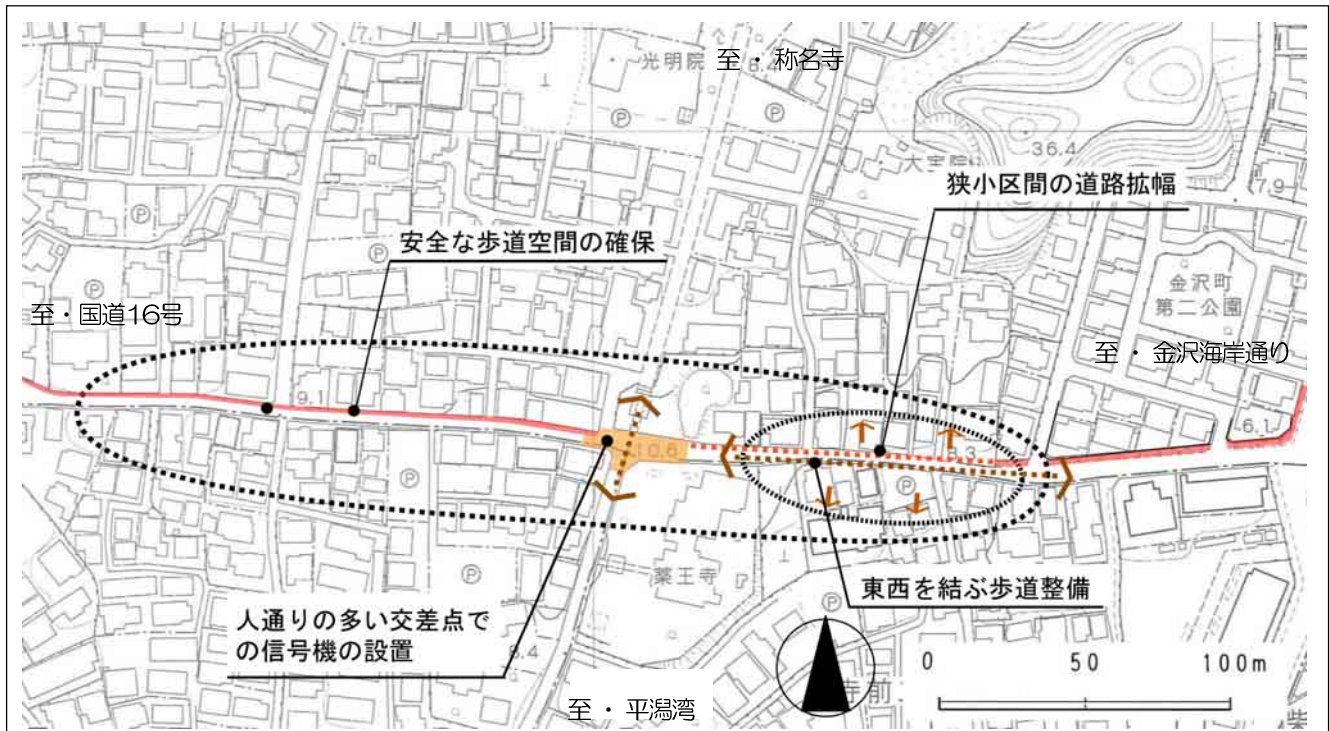
称名寺赤門前などの人通りの多い交差点では、信号機の設置などを進めます。

さらに安全に歩行者が通行できるように、道路沿いの歩道の整備改善を進めます。



地区の骨格となる道路として、市道谷津坂 462 号線の整備を進めます。

図 4 - 5 . 市道谷津坂 462 号線の整備方針



都市計画道路泥亀釜利谷線未整備区間の整備

周辺の住宅地環境や地域性などに配慮した幅員構成（15 m）とします。

地区計画などにより、後背の住宅地景観と調和する沿道街並み景観の誘導を図ります。

町屋学校通りの壁面後退による歩行者空間の確保

地区計画や建築協定などにより、建物建替え時の壁面後退を推進し、商店街と行政の協力の下、歩行者空間の確保を進めます。

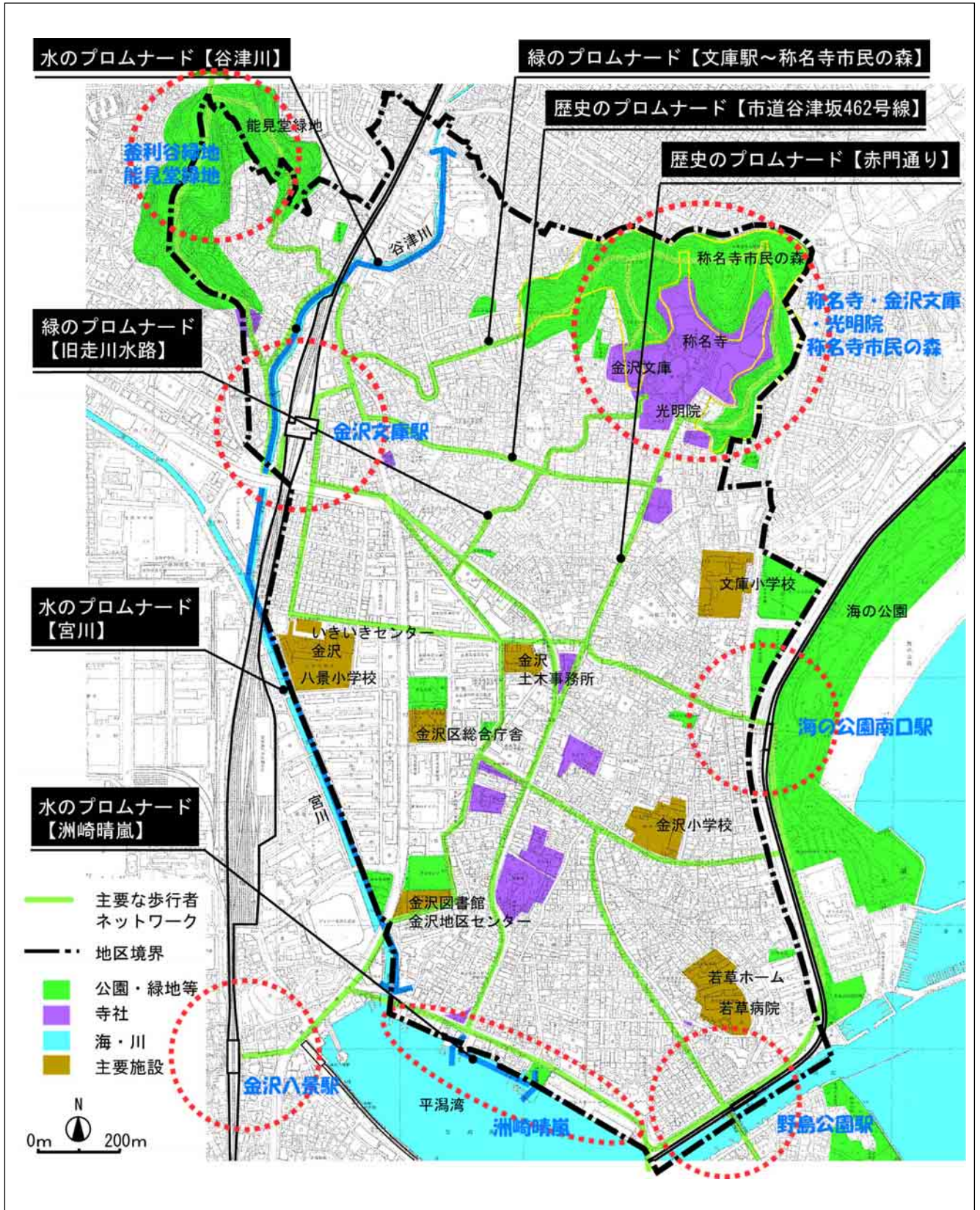


1 階部分の建築を後退し、歩行者空間を確保している例

水・緑・歴史の環境整備プロジェクト

地区内の地域資源の保全・継承・発信を進めるとともに、既存の資源を活用したプロムナードの整備による新しい魅力づけを進めます。また、地域住民が中心となった地域資源の維持・管理の仕組みづくりを進めます。

図4-6. 既存の地域資源を活用した水・緑・歴史のプロムナード



地域資源の把握

区民まつり等にに合わせて、地区内の地域資源を広く知ってもらうため、まち歩きやクリーンアップイベント等を実施します。

小中学校の総合学習等を活用し、地域資源の発見や計画づくり、公園や河川の清掃等を実施します。

地域資源を活かしたまちづくりへの積極的な参加の推進

地域資源を活かしたまちづくり（散策ルートの設定、案内サインの設置、広報PR等の実施）を進めるための検討の場を設けます。

生け垣化や屋上緑化など、住宅地内の緑化に関する地域の自主的なルールづくりを進めます。

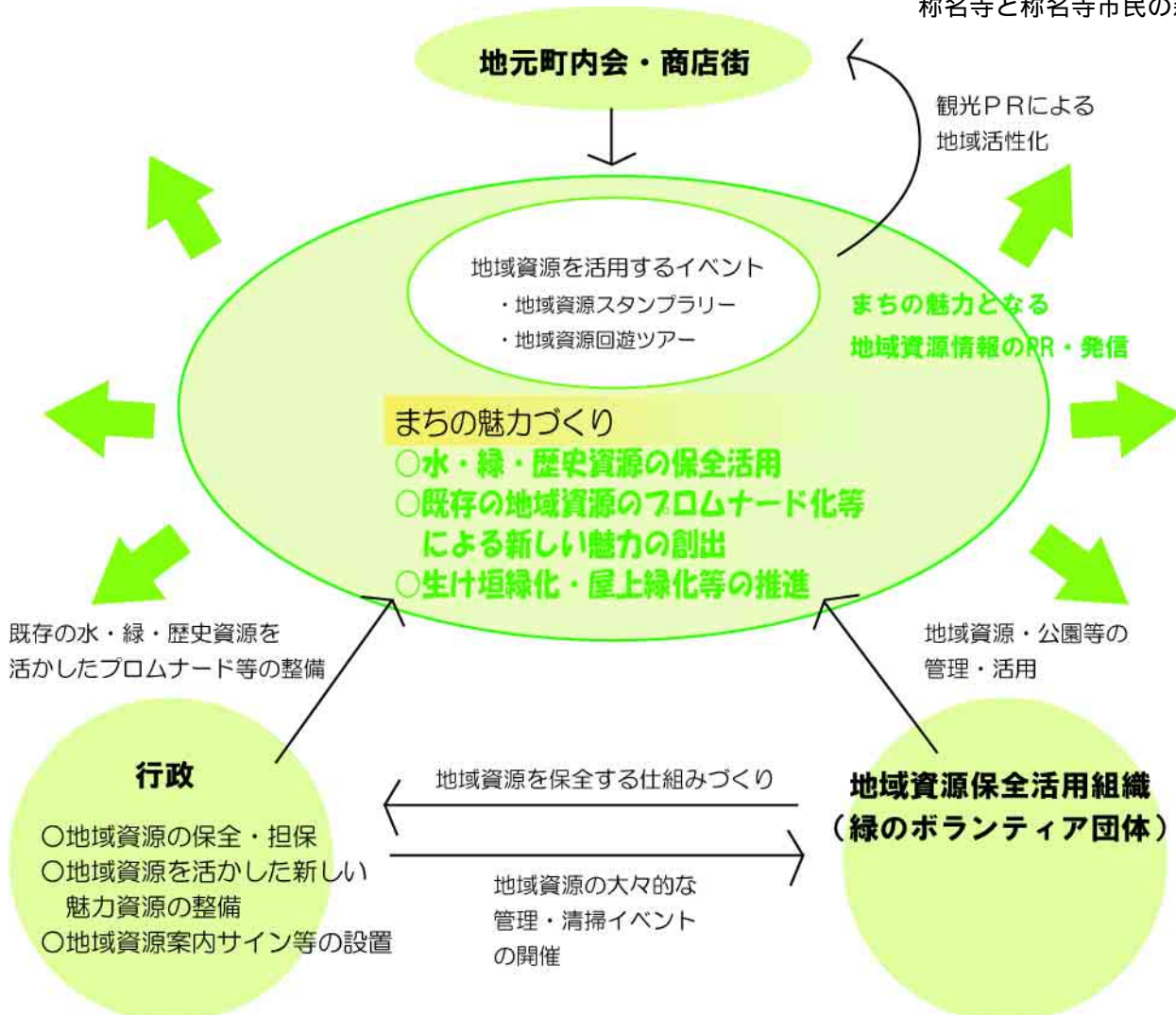
地域資源維持管理の仕組みづくり

緑地、河川や道路などの清掃等の維持管理を行うため、地域住民が中心となった地域資源維持組織の結成を促進します。広く市民が維持管理に関われるよう、地域通貨等の活用についても検討します。



称名寺と称名寺市民の森

地域資源の組織管理と情報発信の仕組み



地域資源プロムナードの整備

既存の地域資源を活用し、地区内を回遊できる散策ルートとなるプロムナードの整備を進めます。

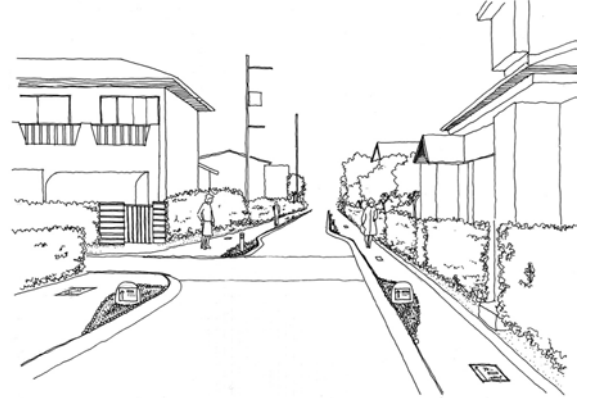
【散策ルート イメージ 1 .

住宅地内の緑のプロムナード】

金沢文庫駅から称名寺市民の森に至るルートにおいて、まちづくり協定()などにより沿道住宅地内の花や木、生け垣等の緑化を推進します。

ルートの途中に案内板や飛び石サイン等の設置を進めます。

図4-7. 住宅地内の緑のプロムナード
イメージ



【散策ルート イメージ 2 .

海・川沿いの水のプロムナード】

谷津川の水辺環境整備を進めます。遊歩道を整備し、水路用地内を緑化するなどして親水性の高い河川空間をつくります。金沢文庫駅西側においては、安全に歩行者が歩けるコミュニティ道路の整備を進めます。

図4-8. 海・川沿いの水のプロムナード
イメージ

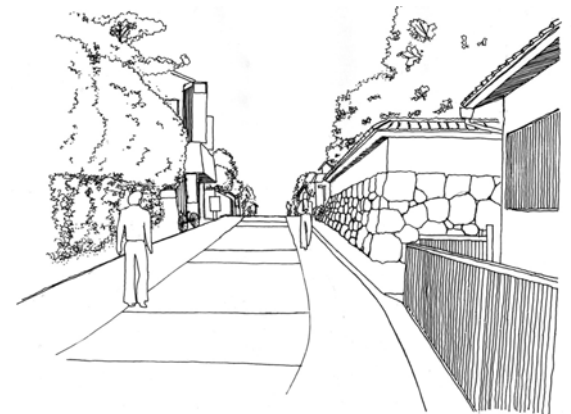


【散策ルート イメージ 3 .

地域性を感じさせる歴史のプロムナード】

金沢文庫駅から称名寺赤門までの“市道谷津坂462号線”、称名寺赤門から金沢歴史の道までの“赤門通り”において、歴史的な背景を踏まえた舗装デザインを施した歩行者優先のコミュニティ道路の整備を進めます。

図4-9. 地域性を踏まえた歴史のプロムナード
イメージ



金沢区心コアゾーン再整備プロジェクト

市民利用施設が多数立地する金沢区心コアゾーンに至るアクセスルートの改善・整備を進めるとともに、遊休化している施設や土地などを再整備し、金沢文庫駅東側地区ひいては金沢圏域全体の今後のまちづくりに寄与する拠点施設の立地を進めます。

図4-10. 金沢区心コアゾーンの範囲



金沢区心コアゾーンに至るアクセスルートの改善・整備

寺前町からいきいきセンター金沢へのアクセスルートにおける歩道未整備区間の整備を進めます。

泥亀釜利谷線高架橋下側道部分の南北方向の横断歩道の改善を進めます。

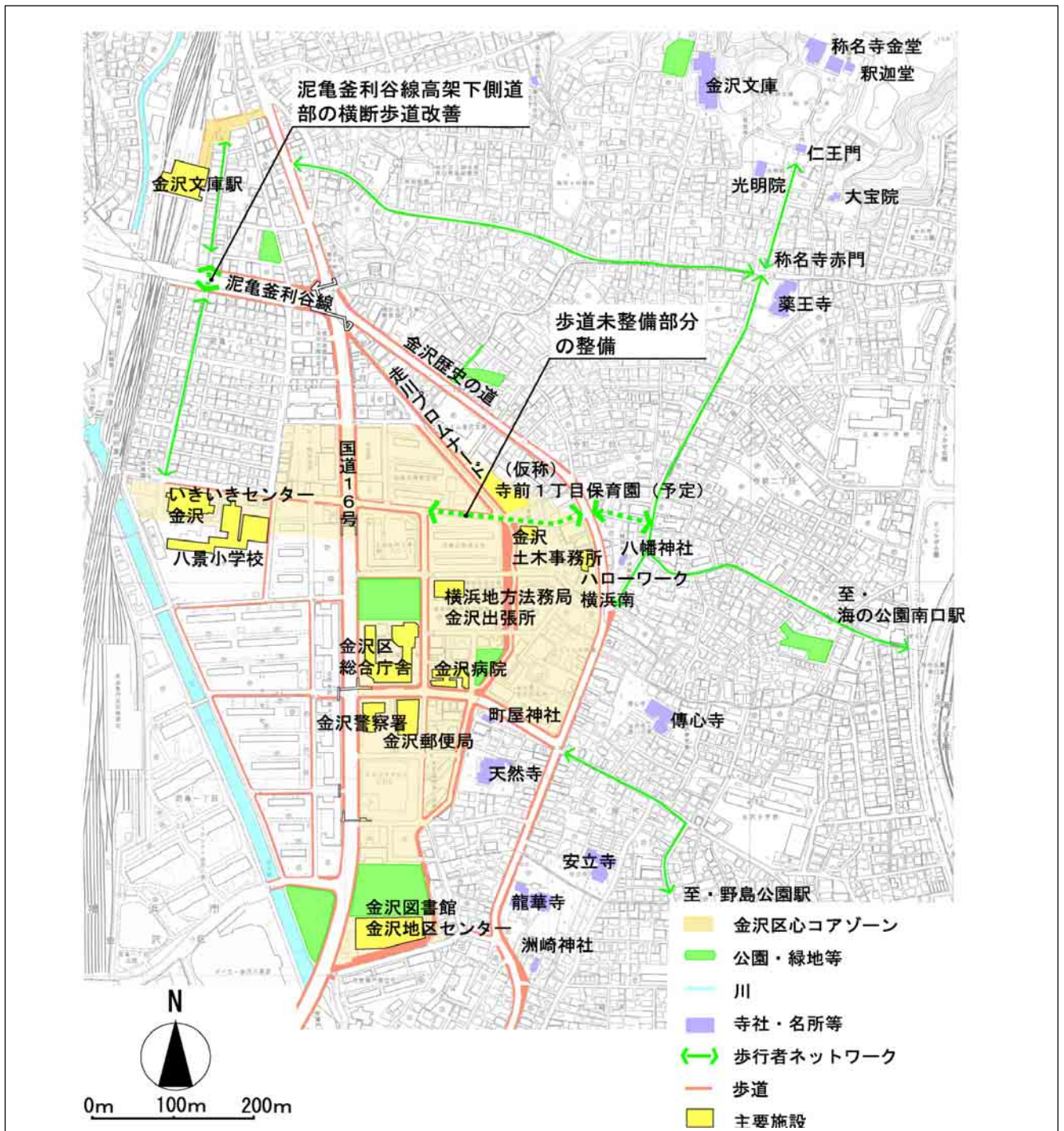
八幡神社北側の道路において、拡幅等の整備を進めます。

金沢区心コアゾーン整備

金沢区心コアゾーン内の建替え再整備が見込まれる施設等の有効利用を進めます。

市有地において、地域の課題や地域のニーズに対応し、かつ区心に必要な公共的施設の立地検討を進めます。

図4 -11. 金沢区心コアゾーンに至るアクセスルート

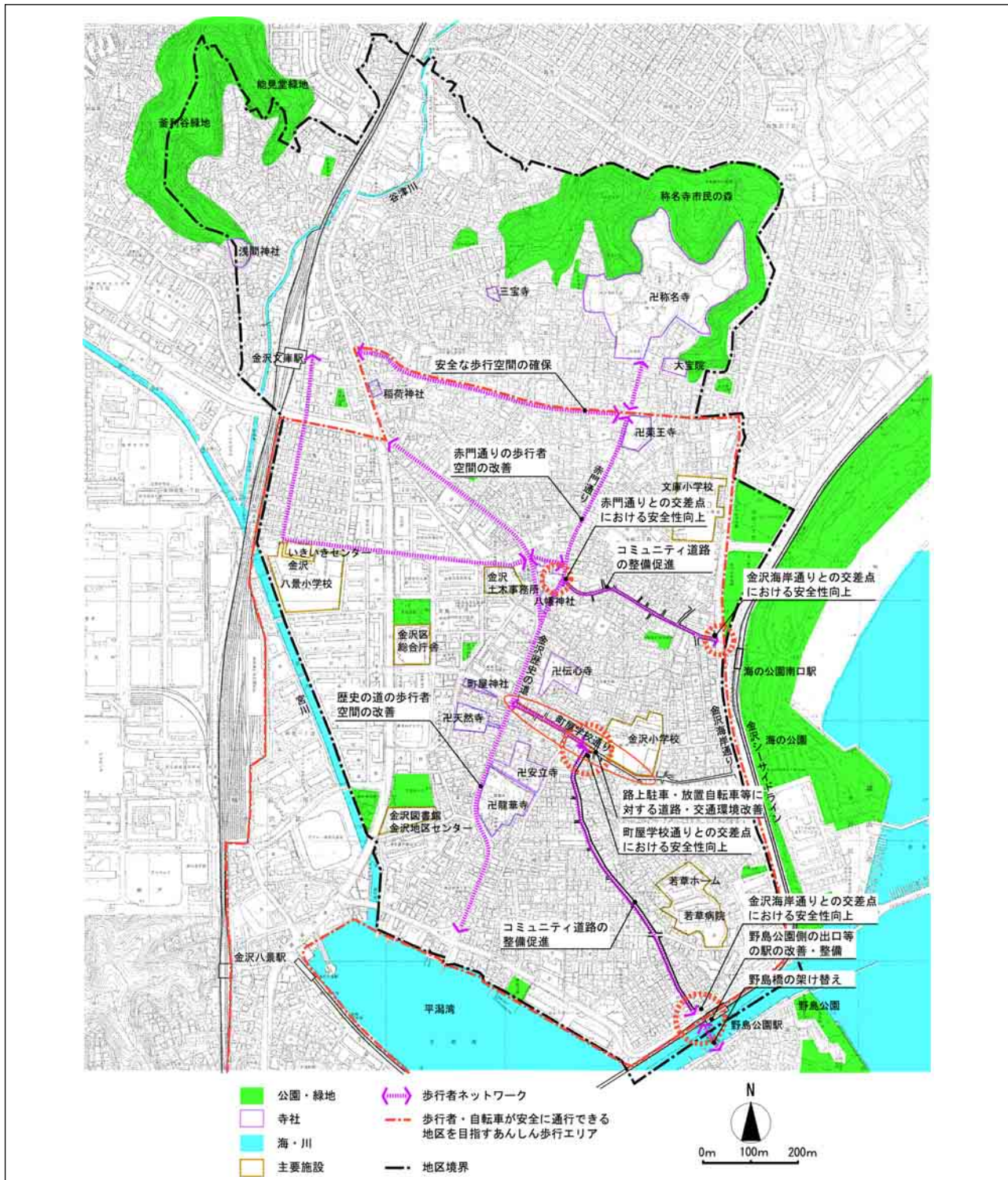


アクセス便利・安全性向上プロジェクト

歩行者・自転車利用者が安心して移動できる地区として、道路を改善し、歩行者・自転車の事故防止対策を進めます。その中で、地区内の駅へのアクセス利便性と安全性を高めるため、地区東側の金沢シーサイドライン各駅と地域との結びつきを強めるコミュニティ道路の整備を進めます。

また、地域住民と行政との協働により、現在の道路・交通環境を改善する仕組みづくりを進めます。

図4 -12. アクセス便利・安全性向上のイメージ



交通安全性の向上

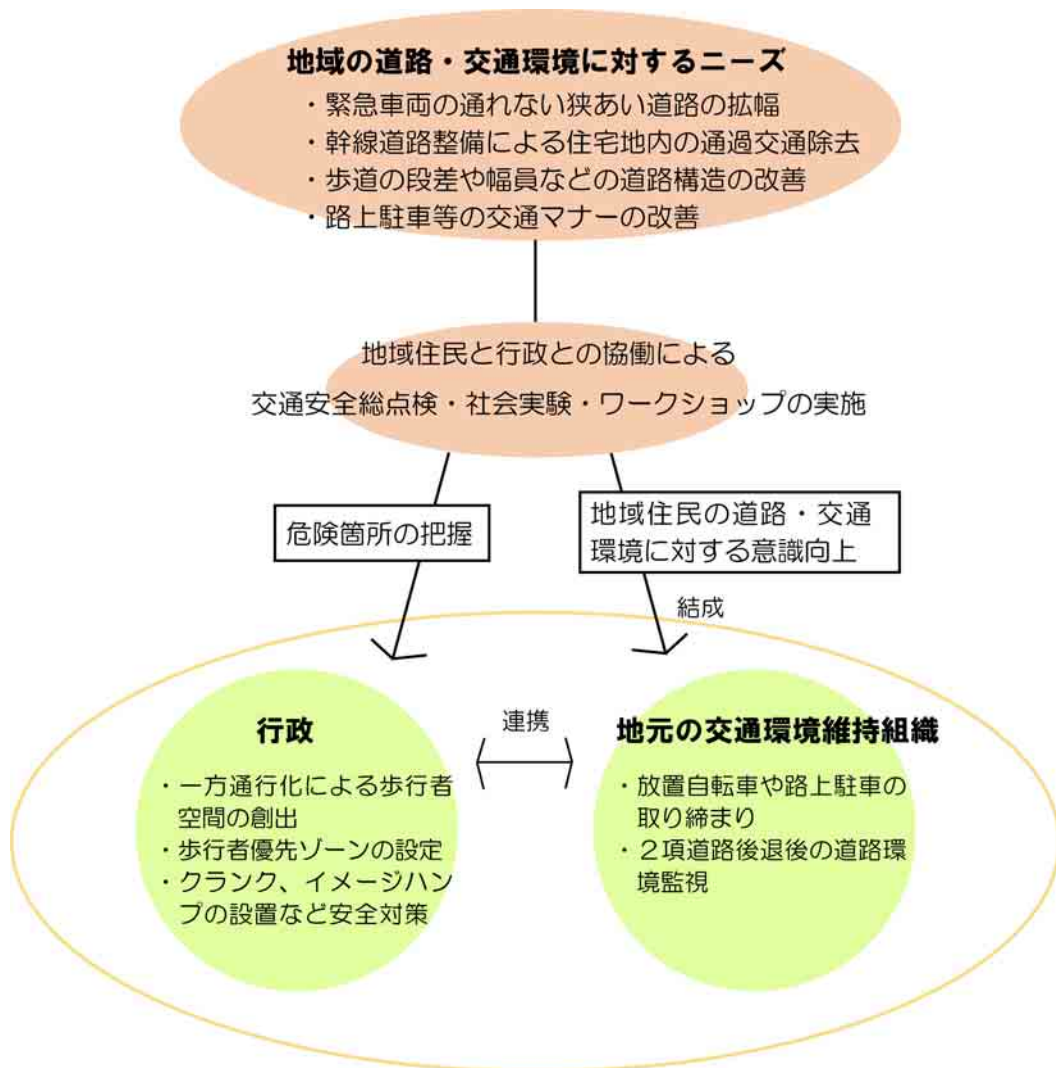
社会実験やワークショップなどを通して、放置自転車、違法駐車や自転車利用のマナー、交通環境の問題などに対する地域の意識向上を図り、地域の交通環境を改善するコミュニティづくりを進めます。

危険箇所の実状を随時把握し、交差点改良等の総合的な道路・交通安全対策を進めます。



路上駐車・放置自転車等を監視する地域コミュニティづくりを進めます

地域住民と行政との協働による道路・交通環境改善の仕組み



道路の改善

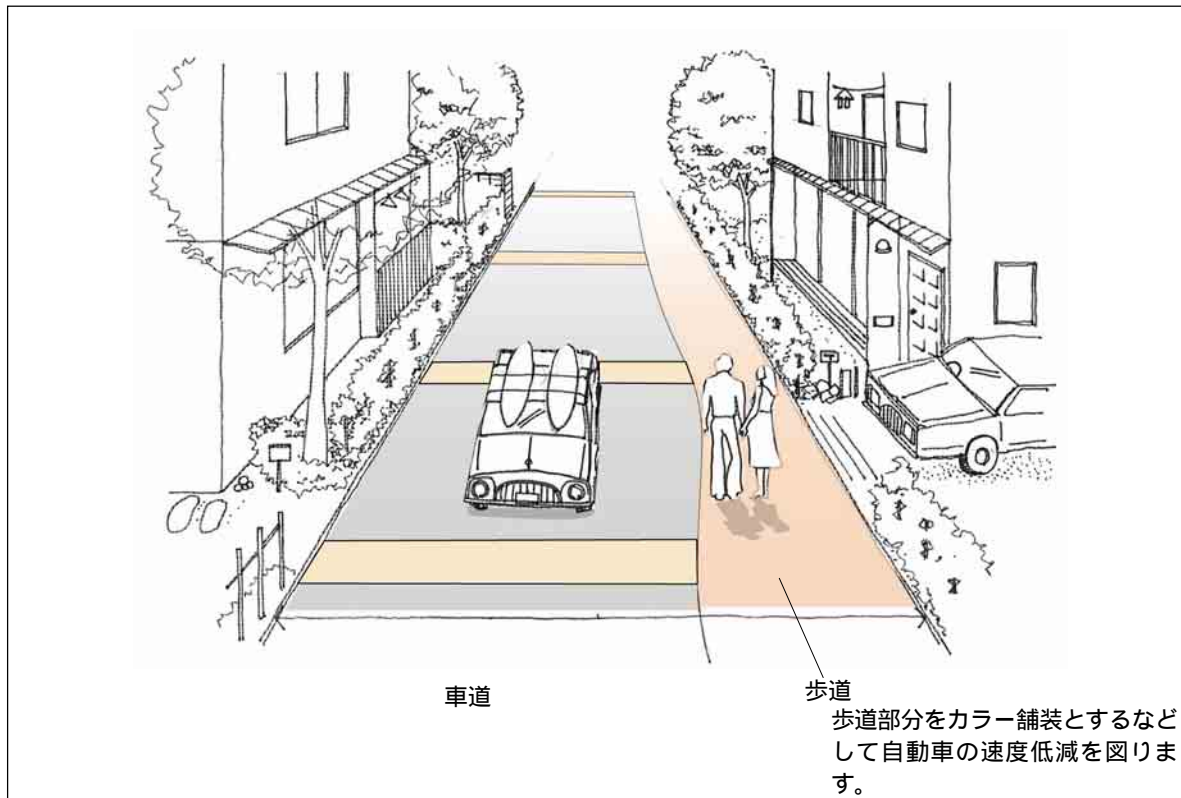
歴史の道において、歩行者空間の改善を進めます。

野島公園駅と町屋学校通り間の道路において、コミュニティ道路化を進めます。

海の公園南口駅と八幡神社間の道路において、コミュニティ道路化を進めます。

一般道路とコミュニティ道路との交差点部分では、歩行者が安全に渡れるようイメージハンブ（減速を促す視覚的サイン）等の整備を進めます。

図4-13. コミュニティ道路整備イメージ



野島橋の架け替え

歩行者が安全に移動できるスペースを確保するため、また野島公園駅と野島(野島公園)方面との回遊性を高めるため、野島橋の架け替え整備を進めます。

金沢シーサイドライン各駅のバリアフリー機能の向上

野島公園駅においては、エレベーターの設置を進め、野島方面への出口の整備を進めます。

野島公園駅および海の公園南口駅の出口においては、野島公園や金沢八景(洲崎晴嵐)等の地域資源情報を示した案内サインの設置を進めます。



野島公園駅における野島側の出口の整備を進めます。